

かざんばい 火山灰を調べてみよう

調べたいことがわかるような
タイトルをつけよう。

名前をわすれずに書こう。

年 組 名前 ()

きっかけ

どうして調べようと思ったのか、
きっかけになったことを書こう。



図かんで火山灰の写真を見たとき、キャンプファイアーの後に見た灰とは全くちがっていた。火山灰は山の木などが燃えたものではなさそうだ。調べてみようと思った。

実験のやり方

使ったものや、調べるやり方を書こう。
絵や写真も使うとわかりやすいぞ。

火山灰の成分を調べるため、「わんがけ」という方法で観察する。水にういてきたもの、水をにごらせるもの、底にしずんだものなどにわけて、それぞれの特ちょうを調べる。

予想

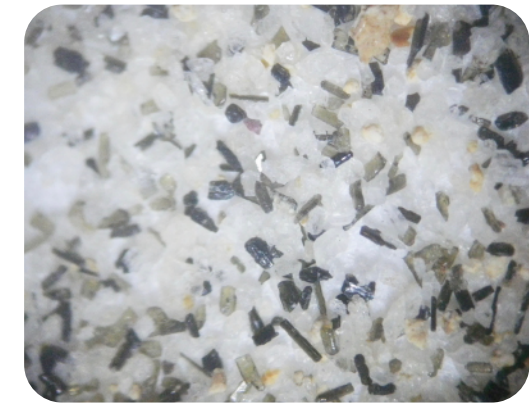
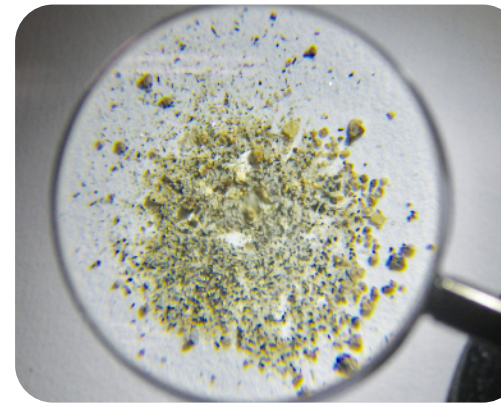
調べる前に、結果を予想して書く。
予想した理由も書こう。

火山灰は、火山の噴火で噴き出したマグマが空気とふれ、冷やされて瞬間的にできた小さな結晶や溶岩だと思う。水にうくものは、ホコリや植物のかけらなど、火山灰を採取したところをついたものだと思う。水をにごらせるものは土で、粒が小さくて虫めがねで見つけることはできないと思う。底に残った砂にはいくつかの種類があると思う。

結果

実験の結果だけを書く。
表やグラフ、写真を使うとわかりやすいぞ。

底に残った砂を観察したら、いろいろな種類の色、形があった。



わかったこと

結果からわかったこと、考えたことを
書く。予想とちがったときはどうして
そうなったのか考えてみよう。

火山灰は、水をにごらせる粘土質や虫めがねではよく見えない小さすぎるものと、いろいろな鉱物からなることがわかった。中でも鉱物には、その火山灰を知る大切な情報がつままっていることがわかった。

まとめ

結果とわかったことをまとめて、
次に調べてみたいことを書こう。

火山灰は、火山の噴火によって地中深くから地表に噴き出したものだということがわかった。また、同じような火山灰でも、それぞれの火山活動によって特ちょうがあることもわかった。この火山灰が地層として見つければ、その地層が何年ごろのものかを知る手がかりになる。

日本は火山の多い国なので、ほかにも自然に堆積したいろいろな火山灰を調べて比較してみたいと思った。